

第3編

重点プロジェクト

1. 重点戦略とは

2. 重点戦略

1. 重点戦略とは

人口減少や超高齢化への対応、安心・安全のまちづくり等、本町におけるまちづくりの課題は多岐にわたっていますが、限られた財源や人材で、課題解決に向けて基本計画に位置づけた事業を一斉に取り組むことは困難です。そのため、平成36年度を目標とする基本構想に位置づけた将来像「人と地域が輝き豊かで元気なまち・まるもり ～一人ひとりの“郷土愛”で未来に繋げるまちづくり～」の実現に向けて、効率的かつ効果的な行財政運営を行うためには、他の事業を牽引する先導的な事業に重点的に取り組んでいくことが必要です。それが「重点プロジェクト」です。

重点プロジェクトは、庁内の横断的な連携はもとより、町民や事業者等が連携して総力を挙げて取り組む重点的な事業です。本計画では、町の現況や課題等を踏まえて3つの重点戦略を掲げ、それに基づき事業を進めていきます。

重点戦略Ⅰ 丸森で活躍する人を育てる

ふるさと丸森を愛する心を育てるとともに、高い学力を身につける教育環境の整備により、世界に羽ばたく意欲ある人材、町外へ発信力のある人材、地域の活力を担う人材と組織を育成する。

重点戦略Ⅱ 地域が元気な丸森をつくる

地域資源を活かした産業の活性化、地域が主体の再生可能エネルギーの導入、健康寿命の延伸により、地域がいきいきとした元気な丸森をつくる。

重点戦略Ⅲ 丸森で暮らす人を増やす

企業誘致の推進と地域に根付いた雇用をつくるとともに、子育て世代が生活しやすい環境づくりや生活利便性の確保などにより、丸森の定住人口を増やしていく。

2. 重点戦略

重点戦略Ⅰ 丸森で活躍する人を育てる

ふるさと丸森を愛する心を育てるとともに、高い学力を身につける教育環境の整備により、世界に羽ばたく意欲ある人材、町外へ発信力のある人材、地域の活力を担う人材と組織を育成する。

● 「郷土愛」を醸成し、丸森の魅力発信や地域に貢献できる創造的な人材を育成する。

事業① 「郷土愛」教育事業 (1.2.2)

地域の自然や文化を学び、「ふるさとを知り」、「ふるさとを愛し」、「ふるさとを大切にする」ため、地域の特色を活かした体験学習や移動学習を行い、郷土愛を育む。

事業② 子ども向け郷土誌作成事業 (1.3.1)

小中学生が郷土の歴史や文化を学び育むための子ども向け郷土誌を作成する。

● 高い学力を身につける教育環境の整備を行う。

事業① ICT教育環境整備事業 (1.2.1)

教育環境を充実させるため、教育用コンピュータの整備充実を図る。

事業② 学力向上研究指定校事業 (1.2.2)

県と町が学力向上研究指定校を指定し、学力向上のための研究及び授業を行い、児童・生徒の学力向上を図る。

事業③ 町内全小中学校統一学力調査事業 (1.2.2)

小中学校統一の学力調査を行い、調査結果・分析を教育指導の資料として活用し、児童・生徒の学力向上を図る。

事業④ 外国語教育充実事業 (1.2.2)

外国語教育の充実を図るため、外国語指導講師を町内の小中学校に派遣し、英語教育・国際理解教育を推進する。

●世界に羽ばたく意欲ある人材の育成と、地域を守り育む人材や組織を育成する。

事業① まちづくり人材育成事業 (4.1.1)

自立した組織経営ができる組織づくりを目指し、講演会や勉強会等を開催する。また、地域が取り組もうとしている事業について、コーディネートや専門的なアドバイスが必要な場合に人材を派遣し、自主的なまちづくり活動を支援する。

事業② 地域貢献組織育成事業 (4.1.1)

住民自治組織との連携を担うNPOなどの地域貢献組織を育成するとともに、行政業務のアウトソーシング化を図る。

事業③ 住民自治組織運営支援事業 (4.1.1)

地域づくり活動の担い手である住民自治組織が、生涯学習事業及び地区別計画事業を円滑に行うとともに、組織が適切に運営されるよう指導、支援を行う。

事業④ まちづくり活動支援助成金交付事業 (4.1.1)

地域に密着した自主的なまちづくり活動の促進と活性化を図るため、その活動を支援する。

事業⑤ 丸森びと育成支援事業 (6.2.3)

新たに大工、左官、塗装等の技術を身につけようとする若者を雇用・育成する丸森町建設職組合所属の事業所等を支援し、若手職人の育成と町内建設職の組織強化を図る。町内事業経営者等の経営力向上や、経営者等を目指す人材の育成のため講演会等を開催する。

重点戦略Ⅱ 地域が元気な丸森をつくる

地域資源を活かした産業の活性化、地域が主体の再生可能エネルギーの導入、健康寿命の延伸により、地域がいきいきとした元気な丸森をつくる。

●地域の特徴を活かした6次産業化の推進と丸森ブランドの創出により「儲かる農業」を推進する。

事業① 丸森町農業創造センター事業 (6.1.1)

町の独自性研究、農業マーケティング研究、農村生活環境研究のそれぞれのテーマに基づき、重点作物等の生産拡大やマーケットインの視点に立った商品開発などの活動を行う農業創造センター事業を支援する。

事業② 儲かる農業実践者ブラッシュアップ事業 (6.1.5)

一定額以上の所得等を上げている認定農業者の更なる規模拡大や経営の多角化を促すための機械や施設整備を支援する。

事業③ 集落営農育成支援事業 (6.1.5)

集落営農の組織化を推進するため、研修会の開催や集落の話し合い等を推進する。

事業④ 特産品開発・販売促進事業 (6.1.9)

町内の地場特産品のPRや販売促進等の事業を推進する。

事業⑤ 中山間地域伝統特産品振興対策事業 (6.1.9)

中山間地域の「ころ柿」、「へそ大根」などの伝統的な特産品の生産拡大や販売促進を図る。

●地域資源を活かした観光の産業化、再生可能エネルギーの導入を推進する。

事業① 百々石公園再整備事業 (5.1.1)

百々石公園のツツジ等の植栽や支障木伐採等、丸森地区協議会と連携を取りながら再整備を行う。

事業② 地域主導型再生可能エネルギー導入支援事業 (5.2.2)

住民が主導的に再生可能エネルギーを活用した事業を実施しようとする際に、情報提供等の側面支援を行なう。また、事業を企画・展開しやすい環境を整える。

事業③ 地域資源を活かした街並み環境整備事業 (6.2.2)

商店街及びその周辺の街並みの景観等を整備し、安心・安全で魅力的な環境を整備する。

事業④ 国民宿舎あぶくま荘建替事業 (7.1.1)

観光交流人口の拡大のため、老朽化した国民宿舎あぶくま荘の建て替えを行う。

事業⑤ グリーン・ツーリズム推進事業 (7.1.2)

グリーン・ツーリズムを推進するため「まるもりグリーン・ツーリズム推進協議会」に対する支援を行う。

●「健康づくり」と「介護予防」を充実し“健康寿命”の延伸を図る。

事業① 健康状況把握事業 (2.1.1)

健康課題に対応した健康づくり事業を展開するため、20代から60代までの町民の心身の健康状態について把握する。

事業② 認知症総合支援事業 (2.2.2)

認知症高齢者に対する支援の充実・強化を図るため、新たな支援体制を整備する。

事業③ 家族介護支援事業 (2.2.2)

高齢者の在宅介護における支援を図るため、介護者の身体的・精神的・経済的負担軽減のための活動を行う。

事業④ 介護予防・日常生活支援サービス事業 (2.2.2)

高齢者の多様なニーズに対応するため、要支援者に対する介護予防給付（訪問介護・通所介護）等について、地域の実情に応じた多様・柔軟な取組みにより効果的かつ効率的に各種サービスを提供する。

事業⑤ 在宅医療・介護連携推進事業 (2.2.3)

住み慣れた地域で生活できるよう、在宅での医療と介護が連携したサービスを提供する。

重点戦略Ⅲ 丸森で暮らす人を増やす

企業誘致の推進と地域に根付いた雇用をつくとともに、子育て世代が生活しやすい環境づくりや生活利便性の確保などにより、丸森の定住人口を増やしていく。

●最先端の技術を有する企業誘致と雇用の創出を図る。

事業① 東北放射光施設誘致促進事業 (6.2.1)

東北放射光施設構想と丸森町への誘致を実現するため、丸森町東北放射光施設誘致促進協議会と宮城県南地域放射光施設誘致促進協議会が中心となり、誘致活動を推進する。

事業② 工場団地造成事業 (6.2.1)

企業誘致を促進するため、多様なニーズに対応できる工場団地を造成する。

事業③ 企業立地情報発信事業 (6.2.1)

企業立地を検討している企業等に対して、積極的な町内情報の提供を行う。

事業④ 空き店舗・空き家等活用事業 (6.2.2)

町内の空き店舗を活用して開業しようとする事業者に対して、改修費等の支援を行ない、地域商業の活性化を図る。また、空き家等を活用した企業等の誘致を行う。

●地域性を活かし、多様なニーズに応じた住環境を提供することにより、移住・定住を促進する。

事業① 丸森まるごとフィールドワーク事業 (7.2.1)

町外の若い世代が丸森町でフィールドワークを行い、学生の授業の実践の場を提供し、産業（産）と学校（学）と行政（官）が連携した事業を行い、丸森ファンを増やし、定住につながるきっかけづくりを行なう。

事業② 移住マネジメント事業 (8.1.1)

移住者向けのワンストップ窓口の構築と、地域主体の移住者への支援体制を構築する。

事業③ 定住促進事業 (8.1.1)

新婚・子育て世代を対象として、定住促進団地の提供、新築やリフォーム住宅取得、賃貸住宅家賃支援を行う。また、民間業者へのアパート経営事業や宅地開発事業に対する支援を行う。

事業④ 丸森駅周辺住環境整備促進事業 (8.1.1)

丸森駅周辺の未利用地を活用した定住住宅整備を行う。

事業⑤ 空き家調査事業 (8.1.2)

危険度の高い空き家等が年々増加しているため、町内空き家のデータ整理を行う。

●子育て世代が暮らしやすいまちづくりを推進する。**事業① 子育て支援センター運営支援事業 (1.1.1)**

丸森町社会福祉協議会が設置・運営する地域子育て支援センター事業を支援し、子育て支援サービスの向上に努める。

事業② 保育施設の再編・改修促進事業 (1.1.2)

町の現状を踏まえた町内児童福祉施設の再編を図るとともに、施設の老朽化に伴う改修を推進する。

事業③ 認定こども園運営支援事業 (1.1.2)

適切な運営負担金や補助金交付等を行い、認定こども園の運営を支援する。

事業④ 子ども医療費助成事業 (1.1.4)

子育て家庭の経済的負担を軽減し、子どもの健やかな成長を支援するため、18歳までの子どもの医療費助成を行う。

●暮らしを支える公共交通機関の確保と生活基盤の整備を推進する。**事業① 丸森町阿武隈急行線利用促進事業 (8.2.1)**

丸森町阿武隈急行線利用促進協議会の事業支援を行い、各種利用促進事業と駅前施設の環境整備を行う。

事業② デマンドタクシー運行事業 (8.2.2)

予約型乗合タクシー「あし丸くん」の運行により、町民の日常生活の交通手段を確保する。

事業③ 町民バス運行事業 (8.2.2)

町民バス及び、白石市民バスの運行により、町民等の移動手段を確保する。

事業④ 主要地方道白石丸森線整備促進事業 (8.3.1)

東北自動車道・東北新幹線へのアクセス向上のため、新たなルート（大張大蔵地区～舘矢間地区）により効果的な整備促進を図る。

事業⑤ 国道349号整備促進事業 (8.3.1)

広域交通網のアクセス向上を図るため、「国道349号建設促進同盟会」により整備促進を図る。

事業⑥ 町道改良舗装事業 (8.3.2)

町民の日常生活を支える主要な町道の整備を「丸森町道路整備計画」により、計画的に整備促進を図る。

事業⑦ 水道未給水対策事業 (8.4.1)

水道未給水地区のそれぞれの条件に応じた水道施設等の整備を行い、安心・安全な水の確保を図る。



阿武隈急行線

丸森町の強み

Strength

<町の現況>

- ・県立自然公園や阿武隈川等の豊かな自然環境がある。
- ・8地区ごとのまちづくりセンターを核とした特色ある地域づくりの取り組みを行なっている。
- ・子育て支援施策が充実している。
- ・不動産公園やラインガルテン事業を中心としたグリーン・ツーリズム事業の先進地である。
- ・地域にはリーダーとして意欲的な人材がいる。

<アンケート調査結果>

- ・自然環境の豊かさ、交通安全・防犯対策、消防・防災対策、上下水道の整備、子育て環境、小中学校の設備、人づくり・地域づくりに関する重要度、満足度が高い
- ・7割の町民が住みよいと回答し、自然環境、人間関係、歴史文化を評価
- ・人口増を望む町民が4割で、外からの受け入れに寛容
- ・5割を超える町民がまちづくり、ボランティア活動への参加に意欲的である。

丸森町の弱み

Weakness

<町の現況>

- ・人口減少、少子高齢化が進行している。
- ・製造品出荷額の増加の一方で、事業所数と従業員数が減少している。
- ・農業従事者の減少、高齢化による農業の担い手不足が深刻化している。
- ・個別に様々な農産物加工品、特産物が作られているが、連携した取組みは少ない。
- ・齋理屋敷や船下り等の歴史や自然を活かした観光資源があるが、観光客の伸び悩みがある。有効活用されていない資源も多くある。
- ・東北自動車道、常磐自動車道のどちらのICにもアクセスできる位置にあるが、アクセス性が弱い。

<アンケート調査結果>

- ・医療施設・夜間診療、公共交通の利便性、雇用の場、地元産業の育成、買い物の利便性、若者定住対策に関して重要度が高く、満足度が低い。
- ・3割弱が住みにくいと回答し、要因としては日常の買い物や交通の不便、働く場、医療・保健、娯楽・レジャー、スポーツ環境の不満。
- ・重点的に取り組むべきこととして、地域農業の再生・観光の活性化、再生可能エネルギーの導入。

丸森町創生のための好機

Opportunity

- ・地方再生に向けた国の取り組み。(地方創生)
- ・国際化が進展し、国内で働く外国人、観光で訪れる外国人の増加。
- ・環境意識(再生可能エネルギー等)の高まり。
- ・防災のまちづくりに関する意識の高まり。
- ・超高齢社会に伴い保健福祉に関するニーズが多様化している。
- ・T P P対策に向けた農産物等の販路拡大や6次産業化による農家所得の確保が必要である。
- ・グローバル化が進んでおり、人材育成や教育環境の充実が必要である。

丸森町を取り巻く脅威

Threat

- ・人口減少と少子化の進行による「消滅自治体」の発生の可能性がある。空き家の増加が問題となっている。
- ・女性の社会進出が進んでいない。
- ・国の対応として、東日本大震災による放射性物質の処理問題が解決されていない。
- ・予期することが困難な自然災害の発生に対する脅威。
- ・環境問題が深刻化している。
- ・厳しい財政状況を反映した、効率的・効果的な行政運営が求められる。

- 「郷土愛」を醸成し、丸森の魅力発信や地域に貢献できる創造的な人材を育成する。

「郷土愛」教育事業(1.2.2) / 子ども向け郷土誌作成事業(1.3.1)

- 高い学力を身につける教育環境の整備を行う。

ICT教育環境整備事業(1.2.1) / 学力向上研究指定校事業(1.2.2)
町内全小中学校統一学力調査事業(1.2.2) / 外国語教育充実事業(1.2.2)

- 世界に羽ばたく意欲ある人材の育成と、地域を守り育む人材や組織を育成する。

まちづくり人材育成事業(4.1.1) / 地域貢献組織育成事業(4.1.1)
住民自治組織運営支援事業(4.1.1) / まちづくり活動支援助成金交付事業(4.1.1)
丸森びと育成支援事業(6.2.3)

重点戦略 I

丸森で活躍する
人を育てる

- 地域の特徴を活かした6次産業化の推進と丸森ブランドの創出により「儲かる農業」を推進する。

丸森町農業創造センター事業(6.1.1) / 儲かる農業実践者ブラッシュアップ事業(6.1.5)
集落営農育成支援事業(6.1.5) / 特産品開発・販売促進事業(6.1.9)
中山間地域伝統特産品振興対策事業(6.1.9)

- 地域資源を活かした観光の産業化、再生可能エネルギーの導入を推進する。

百々石公園再整備事業(5.1.1) / 地域主導型再生可能エネルギー導入支援事業(5.2.2)
地域資源を活かした街並み環境整備事業(6.2.2) / 国民宿舎あぶくま荘建替事業(7.1.1)
グリーン・ツーリズム推進事業(7.1.2)

- 「健康づくり」と「介護予防」を充実し「健康寿命」の延伸を図る。

健康状況把握事業(2.1.1) / 認知症総合支援事業(2.2.2) / 家族介護支援事業(2.2.2)
介護予防・日常生活支援サービス事業(2.2.2) / 在宅医療・介護連携推進事業(2.2.3)

重点戦略 II

地域が元気になる
丸森をつくる

- 最先端の技術を有する企業誘致と雇用の創出を図る。

東北放射光施設誘致促進事業(6.2.1) / 工場団地造成事業(6.2.1)
企業立地情報発信事業(6.2.1) / 空き店舗・空き家等活用事業(6.2.2)

- 地域性を活かし、多様なニーズに応じた住環境を提供することにより、移住・定住を促進する。

丸森まるごとフィールドワーク事業(7.2.1) / 移住マネジメント事業(8.1.1)
定住促進事業(8.1.1) / 丸森駅周辺住環境整備促進事業(8.1.1) / 空き家調査事業(8.1.2)

- 子育て世代が暮らしやすいまちづくりを推進する。

子育て支援センター運営支援事業(1.1.1) / 保育施設の再編・改修促進事業(1.1.2)
認定こども園運営支援事業(1.1.2) / 子ども医療費助成事業(1.1.4)

- 暮らしを支える公共交通機関の確保と生活基盤の整備を推進する。

丸森町阿武隈急行線利用促進事業(8.2.1) / デマンドタクシー運行事業(8.2.2)
町民バス運行事業(8.2.2) / 主要地方道白石丸森線整備促進事業(8.3.1)
国道349号整備促進事業(8.3.1) / 町道改良舗装事業(8.3.2) / 水道未給水対策事業(8.4.1)

重点戦略 III

丸森で暮らす
人を増やす